



マネージャの削除

Unified CM Assistant マネージャを削除すると、Cisco Unified CallManager は、そのマネージャの情報をディレクトリにユーザとして保持します。たとえば、*rmartinez* というユーザ ID を持つマネージャに 2 人のアシスタントがいて、それぞれ *dbell* と *jkent* というユーザ ID を持つ場合、マネージャとしての *rmartinez* を Cisco Unified CallManager データベースで削除すれば、*rmartinez* と両方のアシスタントとの関連付けを解除できます。削除した後も、ディレクトリには *rmartinez* がユーザとして残ります。

Cisco Unified CallManager からのマネージャの削除

Cisco Unified CallManager データベースと LDAP ディレクトリから、マネージャと、そのマネージャとアシスタントのアソシエーションをすべて削除できます。[IPMA マネージャの削除] オプションにアクセスするには、[Bulk Administration] > [マネージャ/アシスタント] > [IPMA マネージャの削除] を選択します。

削除する既存のレコードを検索する方法には、次の 2 つがあります。

- [クエリーを使用したマネージャのアソシエーションの削除 \(P.29-1\)](#)
- [カスタム ファイルを使用したマネージャのアソシエーションの削除 \(P.29-3\)](#)

クエリーを使用したマネージャのアソシエーションの削除

Cisco Unified CallManager ディレクトリ内で、アシスタントとのアソシエーションからマネージャを削除する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 [Bulk Administration] > [マネージャ/アシスタント] > [IPMA マネージャの削除] > [クエリー] の順に選択します。[IPMA マネージャの削除 (Delete IPMA Managers Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 最初の [検索対象: マネージャ、検索条件] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索条件を選択します。

- [ユーザ ID]
- [名]

- [ミドルネーム]
- [姓]
- [部署名]

2 番目の [検索対象: マネージャ、検索条件] ドロップダウン リストボックスで、次のいずれかの検索条件を選択します。

- [が次の文字列で始まる]
- [が次の文字列を含む]
- [が次の文字列と等しい]
- [が次の文字列で終わる]
- [が空である]
- [が空ではない]

ステップ 3 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



ヒント

データベースに登録されているすべてのマネージャを検索するには、検索テキストを入力せずに [検索] をクリックします。



(注)

マネージャを複数の部署から選択するには、このフィールドに複数の部署を入力します。たとえば、部署 12 と部署 24 からマネージャを選択するには、3 番目のボックスに **12, 24** と入力します。削除操作を 2 回繰り返す必要はありません。

ステップ 4 クエリーをさらに定義する場合や、複数のフィルタを追加する場合は、[絞り込み] チェックボックスをオンにし、ドロップダウン ボックスから [AND] または [OR] を選択して、ステップ 2 ～ 3 を繰り返します。

ステップ 5 [検索] をクリックします。

検索されたマネージャのリストが、次の項目別に表示されます。

- [ユーザ ID]
- [名]
- [ミドルネーム]
- [姓]
- [部署名]

ステップ 6 [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。

ステップ 7 マネージャを即座に削除するには、[今すぐ実行] オプション ボタンをクリックします。マネージャを後で削除するには、[後で実行] をクリックします。

ステップ 8 [送信] をクリックして、選択したマネージャを削除するジョブを作成します。

ステップ 9 このジョブのスケジュールやアクティブ化を行うには、Bulk Administration メイン メニューの [ジョブスケジュール] オプションを使用します。

ジョブの詳細については、第 51 章「ジョブのスケジュール」を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、P.54-3 の「BAT ログ ファイル」を参照してください。

その他の項目

詳細については、P.29-4 の「関連項目」を参照してください。

カスタム ファイルを使用したマネージャのアソシエーションの削除

テキスト エディタを使用してカスタム ファイルを作成し、削除対象のマネージャのアソシエーションを検索できます。

始める前に

1. 削除するマネージャのユーザ ID を指定したテキスト ファイルを作成します。
2. ユーザ ID は、1 行に 1 つずつ指定します。
3. カスタム ファイルを Cisco Unified CallManager サーバの最初のノードにアップロードします。詳細については、P.2-4 の「ファイルのアップロード」を参照してください。

カスタム ファイルを使用してマネージャのアソシエーションを削除する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 [Bulk Administration] > [マネージャ / アシスタント] > [IPMA マネージャの削除] > [カスタム ファイル] の順に選択します。[IPMA マネージャの削除 (カスタム) (Delete IPMA Managers Custom Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 [削除対象: マネージャ、検索条件] フィールドで、識別子 [ユーザ ID] を選択します。

ステップ 3 2 番目のフィールドである [カスタムファイル] ドロップダウン リストボックスで、このトランザクション用に作成したカスタム ファイルの名前を選択します。

ステップ 4 [検索] をクリックします。

検索されたマネージャのリストが表示されます。

ステップ 5 [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。

ステップ 6 マネージャを即座に削除するには、[今すぐ実行] オプション ボタンをクリックします。マネージャを後で削除するには、[後で実行] をクリックします。

ステップ 7 [送信] をクリックして、選択したマネージャを削除するジョブを作成します。

■ 関連項目

ステップ 8 このジョブのスケジュールやアクティブ化を行うには、[ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] ウィンドウを使用します。

ジョブの詳細については、[第 51 章「ジョブのスケジュール」](#)を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、[P.54-3 の「BAT ログ ファイル」](#)を参照してください。

関連項目

- [Cisco Unified CallManager 内のマネージャとアシスタントのアソシエーションの削除 \(P.28-1\)](#)
- [Cisco Unified CallManager からのアシスタントの削除 \(P.30-1\)](#)
- [BAT ログ ファイル \(P.54-3\)](#)
- [ファイルのアップロード \(P.2-4\)](#)
- [ジョブのスケジュール \(P.51-1\)](#)